

## オーディオ実験室収載

### OTTAVA.TV を楽しむ(6) —OTTAVA TV の有料配信受信(1)—

#### 1. 始めに

前報(5)までにリゴレットの無料配信の視聴を行いましたが、今回から有料配信の視聴を行っていきます。

#### 2. OTTAVA TV の有料配信視聴

今回の視聴対象は、アイーダです。OTTAVATV のサイトの情報は以下のとおりです。

視聴可能期間：06月30日(日)01:30-07月03日(水)01:30

「舞台はファラオの時代の古代エジプト。エチオピアの王女アイーダは、エジプトの戦いに敗れて囚われ、身分を隠し奴隸となっており、エジプト軍の指揮官ラダメスと恋仲にある。ラダメスを愛するエジプト王女アムネリスの嫉妬やエジプトとエチオピアの争いの激化の中、ラダメスは祖国を裏切り、墓に生き埋めにされることになってしまふ。ラダメスが地下牢に入れられると、そこにはアイーダの姿が。判決を予期し、彼女はここに潜んでいたのである。2人は永遠の愛を誓いながら現世に別れを告げるのであった。楽器編成や合唱の人数の多さやバレエの挿入、演出の華やかさなど、イタリア・オペラ最大級の作品であり、名曲も多い。特に有名なのは第2幕第2場の「凱旋行進曲」。サッカーの応援歌として使用されているため、耳になじんでいる方も多いだろう。楽曲自体の華やかさはもちろんだが、「ファンファーレ・トランペット（アイーダ・トランペットとも呼ばれている）」の使用によってさらに輝きを増したこの作品は「これぞオペラ！」という感動を与えてくれる。ラダメスの歌う「清きアイーダ」、アイーダの歌う「勝ちて帰れ」といったアリアもそれぞれ重量級の声を持つテノールとソプラノの重要なレパートリーとなっている名旋律だ。」



アイーダのチケット購入に進むと PayPal のアカウント取得が必要ということになります。決済方法を指定しますと、PayPal による支払い完了ということで、視聴画面にはチケット購入済の表示がでます。その後、PayPal からメールアドレスの確認と OTTAVA への支払い完了のメールが届き、開演を待つ運びとなります。

起床したときは、まだライブをやっていましたが、午後になってからは、アーカイブの視聴になります。

今回は前報(5)と同様、DAC に Brooklyn DAC+を使用します。Brooklyn DAC+の入力端子には、USB アキュライザーを装着しています。

既にチケットを購入済で、ログインの際にログインの保持にチェックを入れていましたので、すぐに視聴が開始できました。

SOUND の設定は 192KHz32bit にし、Brooklyn DAC+のクロックは INT(内蔵)にしています。

以下に、開演当初と第 2 幕第 2 場とカーテンコールの画面をいくつか切り取って示します。







開演前は、歌劇場の外観から始まって、建物内部やバレエの練習風景、オーケストラピットあるいはバックステージの様子を織り交ぜながら、歌手やオーケストラのメンバーーやスタッフのコメントが流されます。また、インターミッショーンには合唱やオーケストラの練習風景も紹介されました。

開演後は、序曲につづいて、歌と演技がオーケストラの伴奏に乗って進行します。オーケストラの音は、オーケストラピットから発せられますので、分離が今一つで、若干こもった音ですが、歌手の歌声は極めて明晰でまるで劇場にいるかのような臨場感を与えてくれます。

聴かせどころの第2幕第2場の凱旋行進曲のアイーダ・トランペットはステージ上に現れ、華やかな雰囲気を盛り上げます。この第2幕第2場の凱旋行進曲は、DA-3000により 5.6MHzDSF のフォーマットで録音し、fidata に転送して、USB 経由で Brooklyn DAC+で再生してみましたが、かなり満足度の高い音質で、華やかな凱旋の模様を再現してくれています。

### 3. まとめ

有料プラグラムの視聴ができるようになり、迫力満点のステージと音を楽しめるよう

になりました。また、DA-3000 により DSD 録音も可能になりました。  
今シーズンの公演はこのアイダで終了となりましたが、来シーズンの公演スケジュールが発表になりましたので、オーディオ資料室にウィーン国立歌劇場 2019-2020 シーズン公演一覧として転載しました。これらの中から聴いてみたいものを選択していく予定です。

以上